

令和3年度 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

◆市町村名

関市

◆配属部署

協働推進部生涯学習課

◆家庭教育支援員の役割

- 家庭教育を以下の3点から支援する。
- ①親の育ちを応援する。（課題を抱える家庭に、就園前から中学校までの、切れ目のない支援を行う。）
 - ②家庭と支援者をつなげる。（課題を抱える家庭に支援者の情報を届け、支援者につなげる。）
 - ③支援者同士のネットワークをつなげる。（教育・医療・福祉が連携して支援を行えるよう、支援者間での情報共有や活動連携を調整する。）

◆主な活動

- 令和3年度「家庭教育支援コーディネーター」養成講座
- ・第1回 6/26 魔法の「ほめ方」と「ほめ言葉」
講師：日本ほめる達人協会特別認定講師 橘英樹氏
 - ・第2回 7/24 不登校の実態と保護者への支援について
講師：岐阜大学教育推進・学生支援機構特任教授 古田信宏氏
 - ・第3回 8/28 子育て支援に求められるもの ～ネット社会と子どもたち～
講師：情報モラル教育研究所所長 上水流信秀氏
 - ・第4回 9/25 家庭教育支援チームにできること
講師：関市民活動センター事務局長 北村隆幸氏
 - ・第5回 10/23 学校へ行けない子、行かない子に対する理解と支え～
講師：中部学院大学人間福祉相談センター相談員 天野菜穂子氏
 - ・第6回 11/13 子どもの生命と健やかな育ちの保障
講師：児童心理療育施設「桜学館」施設長 児玉俊郎氏
 - ・第7回 12/11 L G B T Qの正しい理解
講師：関市立小金田中学校養護教諭 塚原百合香氏
 - ・第8回 1/29 子育て世代包括支援の現場から
講師：関市子育て世代包括支援センター所長 長谷川美保氏
- 乳幼児期家庭教育学級の運営支援
- ・コーディネーター5名が、関地域乳幼児期家庭教育学級（いちご学級）の運営を担うと共に、参加者に寄り添い、話を聞いたり声をかけたりして支援を行った。
- 市内の幼保、小中学校の家庭教育学級への支援
- ・コーディネーター2名が市内の小中学校1校に入り、参観日に合わせて「子育て相談会」を実施した。

◆成果

- 支援コーディネーター養成講座では、地域の現場で、地域の課題（不登校、家庭内暴力、L G B T Q、若年出産 等）に対応している人々の話を聞き、支援コーディネーターに求められていることを具体的に考えることができた。
- 支援コーディネーターが関地域乳幼児期家庭教育学級（いちご学級）の企画・準備から当日の運営までを主体的に行い、受講生に寄り添った活動とすることができた。
- 支援コーディネーターが市内の小中学校で行った「子育て相談会」では、担当者が自分の経験を生かして、「学校や家族にはちょっと言いにくい、でも、誰かに聞いてほしい」保護者の悩みを聞くことができた。支援コーディネーターを小中学校でいかに活用していくかという課題について、第一歩を踏み出すことができた。
- 先進地（中津川市、海津市、郡上市）を見学し、それらの地区と関市を比較することで、本市では様々な部署が熱心に家庭教育支援を行っている一方で、各部署間での情報共有や支援の受け渡しにやや弱さがあることに気付き、そこを課題として意識した取組を進めることができた。
- 旧郡部の乳幼児期家庭教育学級がやや停滞していることについて、各地の家庭教育支援の現場を回って原因を把握し、来年度への対策を考えることができた。

◆問い合わせ先

関市協働推進部生涯学習課

0575-23-7776